

「香害」の苦しさを知って

柔軟剤や合成洗剤の香料が原因とみられる体調不良などの「香害」に悩む人たちが、メーカーに対応を求めている。退職や幼稚園の退園を余儀なくされたと訴える人も。一方、メーカー側は取材に対し、「安全性が確認された成分を使用している」としている。

(中村英一郎)

柔軟剤などの香料で体調不良

都内の区議や全国の市議らが1月、香料入りの「マイクロカプセル」を配合して香りを長続きさせる製法の中止を求め、柔軟剤メーカー3社(花王、P&G、ライオン)と日本石鹼洗剤工業会を訪問。署名8889筆を提出した。全国の地方議員らからなる「香害をなくす議員の会」などが、昨年10月〜今年1月、郵送やオンラインで集めた。

同会代表で兵庫県宝塚市の寺本早苗市議は1月23日、千代田区で開いた会見で、同市内の小中学生の約8%が「人工的な香料で体調不良を起こしている」と訴えた。調査結果を紹介。「せめて、マイクロカプセルの使用を規制して」と理解を求めた。



メーカーにマイクロカプセルの不使用を求める約8900の署名

「長続きというより、特徴を変化させないために使用している」とした。香害問題をめぐっては、消費者庁や文部科学省など5省庁が2021年、香り付き製品の使用に配慮を呼びかけている。都は、都立病院職員に對して、柔軟剤などの香りに注意するよう指導。患者用リネンの洗濯では、無香料の洗剤を使うなどの対応をしている。

経済産業省の調査では、無香料のものも含め、22年の柔軟剤の年間販売

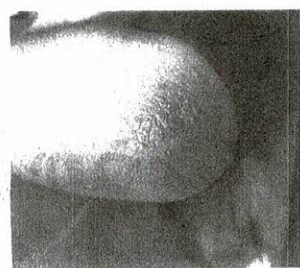
量は約40万ト、販売金額は約1211億円で、20年前からほぼ倍増。日本石鹼洗剤工業会が20年に1都3県の20〜50代の消費者を対象に行った調査では、約8割が香りつき柔軟剤を使用した意向を示した。

「幼稚園がくさい」

署名に参加した西東京市の女性(30)は昨年末、化学物質過敏症(CS)と診断された。出勤できなくなり、約15年働いた会社から契約を打ち切られた。

2年前の冬、異動先の研修で、同僚の柔軟剤の香りを「くさい」と感じるようになった。「鉄板でプラスチックが溶けるようなにおい」。人の話が頭に入らなくなった。会社に相談したが、「日用品を使うなどは言えない」と回答された。頭痛や手足のしびれ、耳鳴りもあり、休職せざるをえなかった。

署名に参加した30代女性の息子は、柔軟剤の香りが強い場所に行くと、ひじをかきむしるという「親族提供



「ひよつとしたら香りのせいかも」と疑った。息子は「幼稚園がくさい」と言っていた。保育士や園児の香りが強いと感じていた女性は、園に相談し、柔軟剤使用の配慮を求めた。相談を重ねた末、園長から「意見するなら園をやめてもらいたい」と言われた。

やむなく退園すると、息子の肌の症状はおさまったという。見学の末、施設に漂う香りの弱い幼稚園を見つければ、春から通う予定だ。ただ、「どの香料(化学物質)に反応しているかわからず防ぎようがない」と不安を感じている。

「退職や退園余儀なく」訴えも

署名に参加した西東京市の女性(30)は昨年末、化学物質過敏症(CS)と診断された。出勤できなくなり、約15年働いた会社から契約を打ち切られた。

2年前の冬、異動先の研修で、同僚の柔軟剤の香りを「くさい」と感じるようになった。「鉄板でプラスチックが溶けるようなにおい」。人の話が頭に入らなくなった。会社に相談したが、「日用品を使うなどは言えない」と回答された。頭痛や手足のしびれ、耳鳴りもあり、休職せざるをえなかった。

署名に参加した30代女性の息子は、柔軟剤の香りが強い場所に行くと、ひじをかきむしるという「親族提供

「ひよつとしたら香りのせいかも」と疑った。息子は「幼稚園がくさい」と言っていた。保育士や園児の香りが強いと感じていた女性は、園に相談し、柔軟剤使用の配慮を求めた。相談を重ねた末、園長から「意見するなら園をやめてもらいたい」と言われた。

「化学物質過敏症」

「香害」の具体的な病名となる「化学物質過敏症(CS)」。大量の化学物質に接触したり、微量な化学物質に持続的に接触したりすると、頭痛や息苦しさ、記憶力の低下などを引き起こす。

厚生労働省が2023年に公表した研究報告書によると、千葉大学予防医学センターの坂部真特任教授は、CS発症者のうち約7割が、柔軟剤や洗剤などに含まれる香料が発症のきっかけの一つになっていると指摘。問診票などから、柔軟剤と症状の出現には強い関係性があるとした上で、「香料の使用は十分に考慮される必要があると考察される」と考察した。